

第3分科会

いつでも どこでも 保健指導 ～スケッチブックを片手に保健指導を行っている実践の紹介～

提案者 港南台第二小学校 青木 友美

1 スケッチブックで作る教材

(1) 今までの実践

- ・宿泊学習前の月経指導
- ・排便指導
- ・コロナ休校明けの過ごし方（手洗い、ソーシャルディスタンス）
- ・食物アレルギー指導
- ・内科検診

(2) スケッチブックを使用するメリット

- ・思いついたときに、いつでも作ることができる。
→絵を描く、イラストを貼る等 PC やデータがなくても家でも作ることができる。
 - ・持ち運びがしやすい。
→担任に話してもらうことが可能、他校での利用もできる。
 - ・リングがついていて、バラバラにならない。
 - ・少人数を集めて、気軽に指導ができる。
→児童の顔が見える距離感で実施できる。
 - ・画像を映すための TV・PC・プロジェクターの準備がいらない。
 - ・テレビ放送で行う場合、画面内に指導者とスケッチブックが映る丁度よい大きさである。
- ☆取り組むためのハードルが低い。

(3) スケッチブックの作り方

- ・自分で絵を描く。
- ・既存のイラスト集を切り貼りする。
- ・紙芝居と同じように、見せたい絵の裏側にあたる面に台本を貼る。
- ・1冊のスケッチブックの中に、2つの内容を入れることもできる。（右開きと左開き）
- ・もし、スケッチブックに収まらない分量となる場合、板目用紙に印刷したものを貼り付け、上にリングを通してスケッチブック風にして作ることもできる。
- ・画用紙にマジックテープを貼り、取り外しができるようにするしかけの紹介

2 保健指導の実践例

(1) 排便指導

- ・自分のうんちを確認することで体の様子が分かる。
- ・うんちの種類（バナナうんち、コロコロうんち、ヒョロヒョロうんち）、種類毎のこれからの生活で気をつけること
- ・これから心がけてほしいこと「食べ物」「早寝早起き」
- ・高学年向けには消化器に関するクイズを入れることで、発展した内容にすることができる。

(2) 月経指導

- ・宿泊学習前に当該学年の男女と一緒に体育館やホールに集め、スケッチブックや教材を使用

して指導している。

- ・子宮内膜の様子を段階的に表示できるように、マジックテープで取り外しできる絵を使う。
- ・女子のみナプキンのサンプルを渡している。男子はナプキンが女子に必要なものだ理解しているため、配布時に混乱は起きない。
- ・男子の体の変化(精通)についても話をする。お互いを尊重できる。

(3) 内科検診

- ・実施に至る経緯:コロナ前には検診時に保健指導を実施していたが、コロナ禍で最小人数のみの入室となり、実施できなくなった。しかし、今年度の健康診断の実施について、市教委から健康診断の検査の意義や重要性、検査・診察の内容や方法を事前に周知するように通知が出たことと、校医から服装について統一してほしいとの話があったことから、スケッチブックを用いた事前指導をすることにした。
- ・顔写真を使用して校医の紹介
- ・校医が使う道具や目的、検査項目、服装等について説明する。

3 保健指導を行うときに大切にしていること

(1) 子どもたちに、簡単にわかりやすく伝えること

全校児童を対象とする場合、学年による発達段階の違いや発達特性による認知能力の個人差等考慮すべきことは多々あるが、対象者毎に別の教材を準備することは大変である。

→文字は少なめに、絵を多めにすることで、だれもが「見ればわかる」ことを意識する。

(2) 自分があまり労力と時間をかけずにできるものにする

日々の慌ただしい業務の中では、教材作りに時間をかけることが難しい。

→自分が持っているもの(ほけんだより用に購入したイラスト集等)、すでに保健室にあるもの(保健学習で使用したもの、来室記録等)、他の養護教諭が作成したものや市二次研究大会で発表されたものを活用する

(3) 時間や場所を選ばずにできるものにする

プロジェクターを使用するためには場所を確保しなければならない。また、まとまった時間を担任に確保してもらうことを考えると、保健指導を行うことへのハードルが高くなる。

→アナログな教材でよい

一授業時間(45分)全部を使おうとせず、15分のモジュールでできるような内容で行う。

朝学習、健康診断の前、歯科巡回指導前の空いた時間を活用する。

4 質疑応答

Q 授業の時間をとられたくないという雰囲気が校内にある。保健指導をやりたいという気持ちをどうやって伝えればよいか。

A 自分の保健指導に対する思いを、まずは仲のよい、話しやすい先生に伝えてみる。そこから少しずついろんな先生に自分の思いを広げていき、校内での理解を図っていく。例えば、「朝学習の時間に5分間だけ」という様に、短い時間から、できるクラスから実施してみるとよい。

Q 内科検診前の保健指導の際、校医はどうしているのか。

A 検診中の男女が入れ替える時間に保健指導を行っている。合間に実施することについて理解のある校医であり、また指導内容を校医にも聞いてほしいという意図がある。保健室内の児童が残り少なくなったときに、廊下で待っている児童を集めて指導することもある。